

ヨミウリ

14.4.18

柴田 崇徳さん

ヨミウリ

アザラシ型ロボット
「パロ」が、「世界一い
やし効果があるロボッ
ト」としてギネスブック
から認定された。

「うれしいが、思いも
よらぬところからの評価
なので、正直驚いた」。
生みの親は少々、とまど
い気味だ。

ギネス認定の「いやしロボット」を開発 *

声をかけてやるとパロ
は体をくねらせ、愛きよ
うを振りまく。優
しくなでてやると
目をうつとりと閉
じ、キュッキュッ
と鳴いて寝ぶ。ふさふさ
した毛が心地よい。確かに
に安らいだ気分になる。
ギネスも感嘆したいや

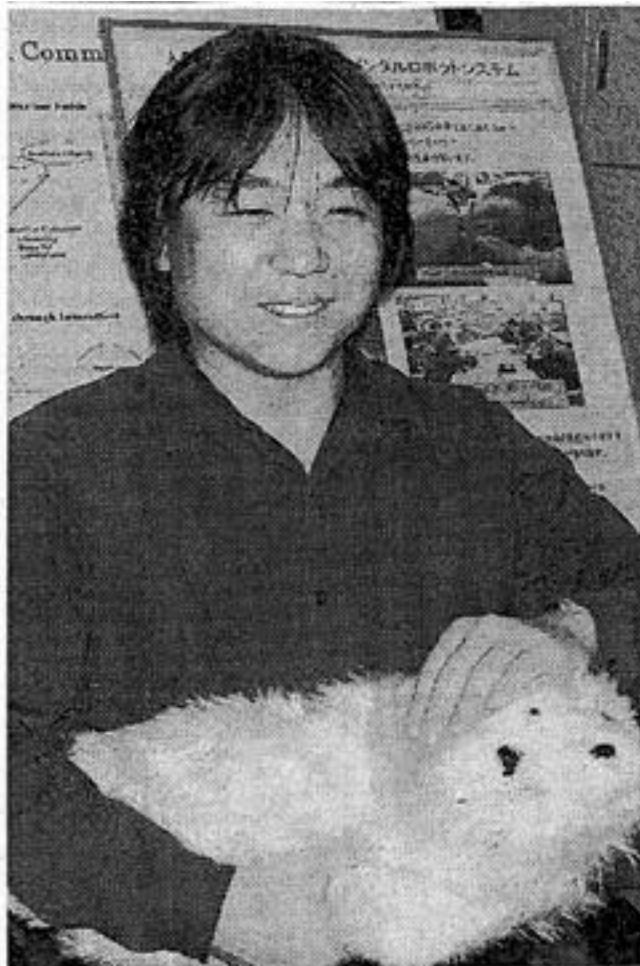
し効果は、小児病棟や老人施設では実証済みだつた。ほおずりしたり、キスしたり。パロの歌まで作るお年寄りもいた。ふさぎ込んでいた子どもやお年寄りの表情が明るくなり、「介護の負担が減った」など、職員にも好

顔

が「猫型や大型は
つい本物と比べて
しまう『これは違う』とすぐ飽きられてしまいます」。結局、アザラシ型に落ち着いた。

一月に英国で開かれた技術展に出品すると、地元メディアが次々取り上げ、パロとともにたちまち時の人。早くも注文が舞い込み、「年内には商品化する計画」という。パロを待つ人がそれだけ多いのだろう。

(つくば支局 安田幸二)



小児病棟・老人施設でも人気者

産業技術総合研究所主任研究員。工学博士。名古屋大大学院修了。35歳。

評を得ていたとい
う。
電子機械工学を専
攻した大学院時代
は、ロボットは「産
業用」だった。「でも、
友達のように対等につき
合えるロボットがいても
いいのではないか、と思
いまして」

人をいやすペット動物
に着目し、試作機をいろ
いろ作ってみた
しまってこれは違
つかないが大型は
つい本物と比べて
しまう『これは違う』とすぐ飽きられてしまいます」。結局、アザラシ型に落ち着いた。